

製品名: Msx-2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab14192

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	MSX2
別名	MSX2; HOX8; Homeobox protein MSX-2; Homeobox protein Hox-8
遺伝子 ID	4488.0
SwissProt ID	P35548
免疫原	ヒト Msx-2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

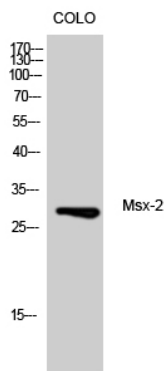
この遺伝子は、筋節ホメオボックス遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は転写抑制因子であり、その正常な活性は、適切な頭蓋顔面形態形成に必要な神経堤由来細胞の生存とアポトーシスのバランスを確立する可能性が

あります。また、コードされているタンパク質は、特定の条件下で細胞増殖を促進する役割を果たし、RASシグナル伝達経路の重要な標的となる可能性があります。この遺伝子の変異は、頭頂孔1および頭蓋縫合早期癒合症2型と関連しています。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：MSX2の欠陥は、頭蓋縫合早期癒合症2型（CRS2）[MIM:604757]の原因です。ポストン型頭蓋縫合早期癒合症（CSB）としても知られています。CRS2は、頭蓋冠縫合の早期癒合を特徴とする常染色体優性疾患です。頭蓋縫合早期癒合症の表現型は、前頭眼窩退縮、前頭隆起、頭蓋短頭症、またはクローバー型頭蓋のいずれかです。関連症状としては、激しい頭痛、視力障害（近視または遠視）の高頻度発生、第1中足骨の短縮などが挙げられます。知能は正常です。疾患：MSX2遺伝子の欠陥は、頭頂孔1（PFM1）[MIM:168500]の原因であり、頭頂孔永久孔（FPP）としても知られています。PFM1は常染色体優性遺伝疾患で、頭頂切痕周囲の骨化不全に起因する頭頂骨の楕円形の欠損を特徴とする。この骨化不全は通常、胎生5ヶ月目に消失する。疾患：MSX2遺伝子の欠陥は、頭頂孔を伴う鎖骨頭蓋骨異形成症（PFMCCD）[MIM:168550]の原因である。頭頂孔を伴う鎖骨頭蓋骨異形成症としても知られる。PFMCCDは、頭頂孔の拡大と鎖骨の骨化不全という頭蓋骨の欠損を併発する。機能：形態形成に関与する可能性がある。四肢パターン形成に関与している可能性がある。骨芽細胞において、オステオカルシン FGF 応答配列（OCFRE）による転写を抑制する。類似性：Msh ホメオボックスファミリーに属する。類似性：1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含む。サブユニット：MINT と相互作用する（類似性による）。G22P1（Ku70）およびXRCC5（Ku80）と相互作用する。

研究分野

-

画像データ



Msx-2 ポリクローナル抗体を用いた CoLo 細胞のウェスタンブロット解析